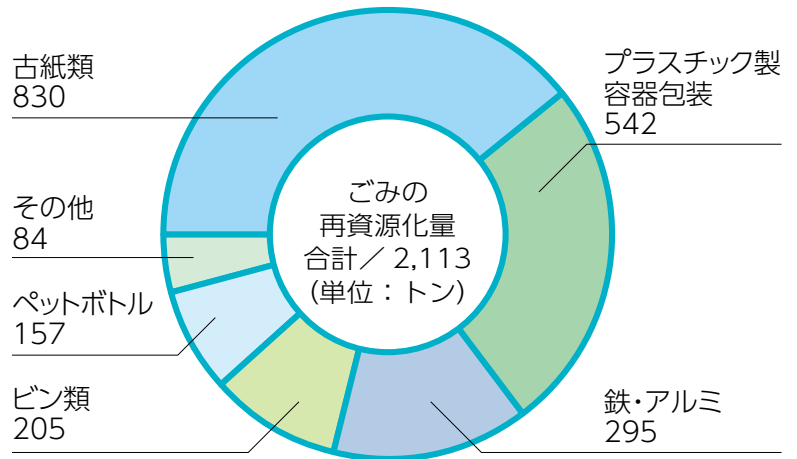


混ぜれば「ごみ」 分ければ「資源」

平成29年度中に町で収集された13,452トンのごみのうち、2,113トンが再資源化されています。



よろしく
おねがいします!



環境対策課 豊島主事補

ごみは混ぜてしまえばただの「ごみ」として焼却されてしまいますが、適正に分別すれば「資源」として取り扱うことができます。ですが町の現状は、収集した可燃ごみの中に正しく分別されていないものが見られます…資源化できるのにもったいない(´へ`)

では、過去にあったごみの例を見ながら分別のしかたについてお話しします。

この中に正しく分別されていないごみが1つあります。
みなさんはわかりますか?



わかりましたか? 右下をご覧ください。可燃ごみの中にストローがついた紙パックが混ざっています。伊奈町では、☑マークのついているプラスチックは容器の中を水洗いし、プラスチック製容器包装として、それ以外のプラスチックは不燃ごみ、牛乳パック等の紙パックはきれいに洗って乾かして古紙として出していただいています。プラスチック製容器包装、古紙等はリサイクルされ再利用されます。可燃ごみにプラや不燃、古紙類が混ざってしまうとリサイクルできないので、みなさんお気をつけください! ほかの例もいくつか見ていきましょう。



こちらはプラごみとして出してしまった傘です。傘は骨組みなどがあるため、不燃ごみとして収集されます。不燃ごみは原則月2回収集されています。



これは少し難しいですね。正しく分別されていないのは…左下にあるアルミホイルです！料理などをしたあとにぼいっと可燃ごみに捨ててはいませんか？実はアルミホイルは不燃ごみなんです。



一見ちゃんと収集されたペットボトルの山に見えますが、この中にも正しく分別されていないものがあります。山の中をよく見ると、ラベルがついたペットボトルがありますね。ペットボトルを出すときは、キャップやラベルを外して、中身を洗ってから出してください。塗料などが付着し、それが取れないものは不燃ごみ扱いになります。



使い捨てライターが不燃ごみに混ざっていますね…これは非常に危険な出し方です。収集車両や処理施設での火災事故を引き起こす恐れがあります！使い捨てライターは別袋に入れ、「廃乾電池・ライターの日」に出してください。

今後も「分別」にご協力ください！

いかがでしたか？意外な出し方をするごみもあったのではないのでしょうか？

現在伊奈町では可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ9品目(プラスチック、カン、ペットボトル、透明ビン、色付ビン、古紙、古着、蛍光管等、廃乾電池・ライター)の計11種類の分別収集を行っていますのでごみ収集カレンダーをよくご覧いただき、ごみは朝8時までに集積所に出してください。混ぜれば「ごみ」分ければ「資源」という言葉からもわかるように、あなたのご協力、ただのごみがまた利用できる価値のある「資源」となります。

